

出エジ 43 出エジプト記 31 章 1 節～18 節

「聖霊の賜物、安息日」

1. 文脈の確認

- (1) 幕屋は、神の民に礼拝の方法を教えた。
- (2) モーセの律法と幕屋は、イスラエルの民にのみ与えられたものである。
- (3) 幕屋は、神の計画が成就する前の一時的な仕組みである。
 - ①幕屋は型である。対型は何かを考えることこそ重要。
 - ②幕屋は、キリストの型である。
- (4) これまでの話の流れ
 - ①出 20 章 十戒
 - ②出 21 章～23 章 付加条項
 - ③出 24 章 民の同意
 - ④出 24 章 モーセは山に上る（これで2度目である）
 - ⑤出 25 章～31 章 幕屋に関する命令（これが幕屋に関する8回目のメッセージ）
 - ⑥出 31 章 モーセはあかしの板2枚を受ける。
 - ⑦出 32 章 40 日の間に山の麓の状況が変化する。

2. アウトライン

- (1) 聖霊の賜物 (31 : 1～11)
- (2) 安息日 (31 : 12～17)
- (3) 石の板 (31 : 18)

3. メッセージのゴール（なぜ私たちが、幕屋について学ぶ必要があるのか）

- (1) 新約時代の信者と聖霊の賜物
- (2) 新約時代の信者と安息日
- (3) 新約時代の信者と石の板

このメッセージは、幕屋の中に隠された新約時代の真理を発見するためのものである。

I. 聖霊の賜物 (1～11 節)

1. ベツアルエル (1～5 節)

「見よ。わたしは、ユダ部族のフルの子であるウリの子ベツアルエルを名ざして召し、彼

に知恵と英知と知識とあらゆる仕事において、神の霊を満たした」(2～3節)

(1) ユダ部族のフル、その子ウリ、その子ベツアルエル

- ①フルとはモーセの手を両側から支えた2人のうちのひとり(出17章)
- ②フルの孫がベツアルエルである。

(2) 「神の霊を満たした」

- ①知恵(wisdom)
- ②英知(understanding)
- ③知識(knowledge)

(3) 聖霊による力の付与を「わたしは、彼に神の霊を満たした」と表現した。

- ①ベツアルエルには工芸の能力があったはずである。
- ②その上に、聖霊の力が与えられた。
- ③人間の能力以上の仕事をするために。

(4) 仕事の内容(4～5節)

「それは、彼が、金や銀や青銅の細工を巧みに設計し、はめ込みの宝石を彫り、木を彫刻し、あらゆる仕事をするためである」

- ①聖霊は、美と芸術の霊である。

2. ベツアルエルの援助者(6～11節)

(1) オホリアブ(6a節)

「見よ。わたしは、ダン部族のアヒサマクの子オホリアブを、彼のもとに任命した」

- ①オホリアブは、ダン部族のアヒサマクの子である。
- ②小さい部族の中の、無名の人物が選ばれている。

(2) すべて心に知恵のある者(6b節)

「わたしはすべて心に知恵のある者に知恵を授けた。彼らはわたしがあなたに命じたものを、ことごとく作る」

- ①多数の芸術家、工芸家、職人が用意された。
- ②モーセの心配は吹き飛んだはずである。

(3) 制作する物(7～11a節)

- ①幕屋とその中に入れる器具
- ②祭司の装束

③注ぎの油とかおりの高い香

(4) 私たちへの教訓

①神が、財、方法、人材のすべてを用意された。

②神が私たちに何かをお命じになる時、必要なものはすべて与えられる。

③2種類の人生

*恐れて退く人生

*自分の能力以上の成就を見る人生

④【主】の命令どおりに(11b節)

「彼らは、すべて、わたしがあなたに命じたとおりに作らなければならない」

*幕屋と教会は機能が異なる。

*教会(建物)は、信者がともに集い、神を礼拝する場所。

*教会は、ユダヤ教の会堂(シナゴグ)に似ている。

*幕屋は、神が住まう(臨在する)場所。

(例話) リッチ・フリーマン師のメッセージ

「ユダヤ人も異邦人も、キリストなしでは失われている」

II. 安息日(12~17節)

1. シナイ契約のしるし(13節)

「あなたはイスラエル人に告げて言え。あなたがたは、必ずわたしの安息を守らなければならない。これは、代々にわたり、わたしとあなたがたとの間のしるし、わたしがあなたがたを聖別する【主】であることを、あなたがたが知るためのものなのである」

(1) 契約としるし

①ノア契約のしるしは、虹である。

②アブラハム契約のしるしは、割礼である。

③シナイ契約のしるしは、安息日である。

2. 安息日の規定の目的

(1) イスラエルの民を聖別するため

①聖別とは、俗世界からの区別である。

②イスラエルの民は、安息日が来るたびに、自らの選びと使命を思い出す。

③安息日の規定は、離散の地に住むユダヤ人を守った。

(2) 神の性質を教えるため

「それは【主】が六日間に天と地とを造り、七日目に休み、いこわれたからである」
(17節)

(3) イスラエルの民の信仰を育てるため

①安息日に休息することは、神がすべてを満たしてくださると信じること。

3. 安息日の規定の厳格さ

(1) 幕屋建設の文脈の中でこの規定が与えられている。

①幕屋建設の間も、安息日には休まねばならない。

(2) 違反した場合は、「だれでも必ず殺される」(14節)

①常に実行することを想定した規定ではない。

②神とつながり、神からのちを受ける道はひとつしかない。

③律法の時代の始まりに、神に反抗するなら死しかないと教えている。

④使5:1~11 アナニヤとサツピラの罪

III. 石の板 (18節)

1. あかしの板2枚

「こうして主は、シナイ山でモーセと語り終えられたとき、あかしの板二枚、すなわち、神の指で書かれた石の板をモーセに授けられた」

(1) あかしの板とは、シナイ契約の条項が書かれているという意味。

①神の指で書かれた。神ご自身が書かれたという意味である。

(2) 通常は、契約の当事者が同じ契約書を一通ずつ保管する。

①石の板は、両面に書かれていた。

②この2枚は全く同じものと考えられる。

2. これからモーセは山を下るのであるが、麓では異変が起きていた。

結論：このメッセージは、幕屋の中に隠された新約時代の真理を発見するためのものである。

1. 新約時代の信者と聖霊の賜物

(1) 旧約時代の例

①創41:38 ヨセフ

「そこでパロは家臣たちに言った。『神の霊の宿っているこのような人を、ほかに見つけることができようか』」

②民11:17 モーセ

「わたしは降りて行って、その所であなたと語り、あなたの上にある霊のいくらかを取って彼らの上に置こう。それで彼らも民の重荷をあなたとともに負い、あなたはただひとりで負うことがないようになろう」

③士6:34 ギデオン

「【主】の霊がギデオンをおおったので、彼が角笛を吹き鳴らすと、アビエゼル人が集まって来て、彼に従った」

④士14:19 サムソン

「そのとき、【主】の霊が激しくサムソンの上を下った。彼はアシュケロンに下って行って、その住民三十人を打ち殺し、彼らからはぎ取って、なぞを明かした者たちにその晴れ着をやり、彼は怒りを燃やして、父の家へ帰った」

⑤1サム10:6 サウル

「【主】の霊があなたの上に激しく下ると、あなたも彼らといっしょに預言して、あなたは新しい人に変えられます」

⑥1サム16:13 ダビデ

「サムエルは油の角を取り、兄弟たちの真ん中で彼に油をそそいだ。【主】の霊がその日以来、ダビデの上に激しく下った。サムエルは立ち上がってラマへ帰った」

(2) まとめ

- ①聖霊の働きは、その範囲が限定されていた。
- ②聖霊の内住や聖霊のバプテスマはなかった。
- ③ペンテコステ以降、それが変化する。

(3) 新約時代の例

①執事の選抜(使6章)

「この提案は全員の承認するところとなり、彼らは、信仰と聖霊とに満ちた人ステパノ、およびピリポ、プロコロ、ニカノル、テモン、パルメナ、アンテオケの改宗者ニコラオを選び、この人たちを使徒たちの前に立たせた。そこで使徒たちは祈って、手を彼らの上に置いた」

②聖霊の内住

*すべての信者に与えられている祝福である。

*神からの一方的な贈り物である。

*聖句

ヨハ7:37~39、14:16~17

ロマ5:5

Iコリ2:12

IIコリ5:5

ガラ4:6

Iヨハ3:24、4:13

③聖霊のバプテスマ

*信じた時に受けるもので、後になって繰り返されるものではない。

*聖霊のバプテスマによって、キリストの死、埋葬、復活につながった。

ロマ6:1~10

コロ2:12

*聖霊のバプテスマによって、キリストのからだである教会に連なった。

Iコリ12:13

ガラ3:27

2. 新約時代の信者と安息日

(1) 新約時代の信者は、モーセの律法からは解放されている。

①異邦人は、そもそもモーセの律法の下にいたことはない。

②ユダヤ人は、モーセの律法の下にいたが、今は解放されている。

③安息日の規定は、キリストの律法にはない。

(2) 安息日は、キリストを信じた人が経験する霊的状态の型である。

①へブ4章

(3) 新約時代の信徒は、どの日に礼拝をしてもよい。

①へブ10:25は、定期的に来ることを勧めている。

「ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか」

3. 新約時代の信者と石の板

(1) 2コリ3:6~9

「神は私たちに、新しい契約に仕える者となる資格を下さいました。文字に仕える者では

なく、御霊に仕える者です。文字は殺し、御霊は生かすからです。もし石に刻まれた文字による、死の務めにも栄光があつて、モーセの顔の、やがて消え去る栄光のゆえにさえ、イスラエルの人々がモーセの顔を見つめることができなかつたほどだとすれば、まして、御霊の務めには、どれほどの栄光があることでしょうか。罪に定める務めに栄光があるのなら、義とする務めには、なおさら、栄光があふれるのです」

- ①古い契約と新しい契約
- ②文字に仕える者と御霊に仕える者
- ③文字は殺し、御霊は生かす。
- ④死の務めにも栄光があるが、義とする務めにはなおさら栄光があふれる。

（例話） 今月の大阪の月例会で、日曜日に礼拝できないという女性から相談を受けた。

- ①安息日と日曜日とは同じではない。
- ②今の時代の信者は、モーセの律法の下にはいない。